

「かんがえるのっておもしろい」

定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 この詩では、「かんがえること」はどんなことのようにだとえられていますか。「～こと」とつづくように詩からぬき出して答えましょう。

問2 「知らないけしき」とありますが、これはどんなけしきとして表されていますか。次の中からもっともふさわしいものを選び○でかこみましょう。

ア：とおくのせかいの景色のこと

イ：見たこともない美しい景色のこと

ウ：今まで自分が知らなかったようなこと

エ：よく知らないぶきみなこと



問3 「そらのあおさが ふかくなる」とありますが、これはどのようなことを表していますか。次の中からもっともふさわしいものを選び○でかこみましょう。

ア：かんがえているうちに、ふかい青色の夜空になるということ

イ：どこかとおくの青い空が見えるということ

ウ：空の青さがふかくなっても、かんがえることに夢中で気づかないこと

エ：かんがえることで、ものごとのことがもっと分かるということ

問4 「みらいにおかって とんでいる」とありますが、これはどんなことを伝えようとしていますか。次の中からもっともふさわしいものを選び○でかこみましょう。

ア：みんながかんがえることで、教室がふしぎな力をもつこと

イ：かんがえることで、なんでもできるようになること

ウ：かんがえることで、未来におかって成長していけること

エ：頭の中でなら、なんでも想像することができること

問5 「けんかするのも いいみたい」とありますが、けんかするとどんなことが分かりますか。詩の中のことばを使って答えましょう。



問6 「まえよりもっと」とありますが、何をするまえのことですか。「～まえ」とつづくように詩の中からぬき出して答えましょう。

問7 「けんかするのも いいみたい」とありますが、それはなぜですか。「～から」とつづくように詩の中からぬき出して答えましょう。

問8 「みんなのちからで そだってく」とありますが、これはどんなことを伝えようとしていますか。次の中からもっともふさわしいものを選び○でかこみましょう。

ア：ひとりひとりの力がすばらしいこと

イ：みんなしか学校を育てることはできないこと

ウ：みんながつながり合うことで成長できること

エ：学校を育てるにはなかよくすることが必要だということ

問9 この詩に表現されている「がっこう」はどこにありますか。詩の中からぬき出して5字で答えましょう。



問 10 この詩に表現されている「がっこう」は何によって育ちますか。詩の中からぬき出して答えましょう。

問 11 この詩の形式を説明しているものとしてもっとも正しいものを次の中から選び○でかこみましょう。

ア：現代の話しことばが使われていて、全ての行の音数が同じになっている。

イ：現代の話しことばが使われていて、5行目と11行目以外の行の音数は、8字・5字または7字・5字になっている。

ウ：昔の話しことばが使われていて、一部をのぞいて音数の決まりがある。

エ：現代の話しことばが使われていて、全ての行の音数に決まりはない。



「かんがえるのっておもしろい」

定期テスト対策練習問題（解答）

問1 **どこかとおくへいく（こと）**

【解説】 「どこかとおくへいくみたい」から考えよう。

問2 **ウ**

【解説】 「どこかとおくへいくみたい」から、「とおくのせかいの景色」も正しく思えるが、「とおくのせかいの景色」では、「知らない」とはかぎらない。よって、「今まで自分が知らなかった」ウがもっとも正しい。

問3 **エ**

【解説】 かんがえることで、今までふつうに見てきた「そらのあおさ」も、もっとふかい、色々なあおさが見えてくると言っているので、エがふさわしい。

問4 **ウ**

【解説】 かんがえることで、「知らないけしきがみえて」きたり、「そらのあおさがふかくなる」ように、未来におかって成長していけると伝えている。



問5 (例) かくれていたしらないきもち (かかれているしらないきもち)

【解説】 「かかれて」と「しらないきもち」を使って答えよう。

問6 けんかする

問7 まえよりもっとすきになる (から)

問8 ウ

【解説】 「がっこう」とは書いてあても、これは「みんなが成長していく場」という意味で使われている。よって、みんなの力で、みんなが成長していくという意味。

問9 おかのうえ

問10 みんなのちから



問 11 イ

【解説】 「かんがえるのって（8音）」＋「おもしろい（5音）」や、「どこかとおくへ（7音）」＋「いくみたい（5音）」のように、一部をのぞいて音数にきまりがある。

